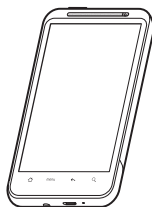
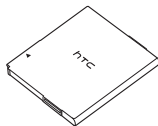


お買い上げ品の確認

■001HT本体※1



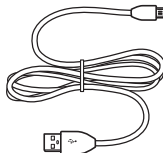
■電池パック (HTBAH1)



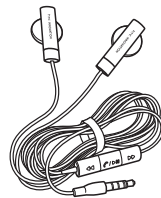
■ACアダプタ (HTCAG1)



■microUSBケーブル(HTDAF1)



■マイクロフォン付きイヤホン (HTLAF1)



■microSDメモ리카ード(試供品)※2

■電池カバー

■USIMカード／メモ리카ード カバー

■クイックスタート

■お願いとご注意

- ※ 1 本機の充電にはソフトバンクの指定した充電器を使用してください。
- ※ 2 本機は、microSDメモ리카ード/microSDHCメモ리카ードを利用できます。お買い上げ時、microSDメモ리카ード(試供品)は、001HT本体に装着されています。



補足

- 本機の充電器およびその他のオプション品につきましては、お問い合わせ先(P.20-18)までご連絡ください。

目次

お買い上げ品の確認	i
目次	ii
本書の見かた	viii
安全上のご注意	ix
お願いとご注意	xix
Bluetooth®機能を使用する場合の お願い	xxii
ワイヤレスLAN (WLAN) に関する ご注意	xxiii
携帯電話機の比吸収率 (SAR) に ついて	xxiii

1 ご利用になる前に

各部の名称と機能	1-2
本体	1-2
ステータスバー	1-4
メモ리카ードについて	1-6
メモ리카ードを取り付ける／ 取り外す	1-6
電池パックと充電機器の お取り扱い	1-7
ご利用になる前に	1-7
電池パックを取り付ける／ 取り外す	1-8
充電する	1-9

電源を入れる／切る	1-10
電源を入れる	1-10
電源を切る	1-10
初期設定	1-10
スリープモード	1-11
マナーについて	1-12
ホーム画面	1-12
拡張ホーム画面	1-12
ホーム画面を切り替える	1-13
タッチパネルの使いかた	1-13
機能の呼び出しかた	1-16
アプリケーションを起動する	1-16
最近使用したアプリケーションを 起動するには	1-16
検索のしかた	1-16
本機を検索する	1-16
インターネットで検索する	1-17
音量を調節する	1-17
着信音量を調節する	1-17
通知音量を調節する	1-17
メディア音量を調節する	1-17
アラーム音量を調節する	1-18
パソコンとつなぐ	1-18
メモ리카ードをストレージとして 使う	1-19

暗証番号	1-19
交換機用暗証番号	1-19
発信規制用暗証番号	1-19

2 個人設定

個人設定	2-2
着信音を変更する	2-2
シーンを切り替える	2-2
マイシーンを作成する	2-2
マイシーンを削除する	2-3
マイシーンの名前を変更する	2-3
壁紙を変更する	2-3
スキンを変更する	2-3
ホーム画面をカスタマイズする	2-3
ウィジェットやアイコンを 追加する	2-3
ウィジェットやアイコンを 移動する	2-4
フォルダ名を変更する	2-4
ウィジェットやアイコンを 削除する	2-4
タブの配置を変更する	2-5
タブを並べ替える	2-5
タブを削除する	2-5
タブを元に戻す	2-5

3 電話

自分の電話番号を確認する	3-2
通話中の音量を調整する	3-2
電話をかける	3-2
音声電話をかける	3-2
連絡先から電話をかける	3-3
通話履歴から電話をかける	3-3
スピードダイヤルで電話をかける	3-3
日本国内から国際電話をかける	3-4
緊急電話（110／119／118）を かける	3-4
電話を受ける	3-5
通話中の操作	3-5
音声電話画面の操作	3-5
通話中のメニュー	3-6
海外で利用する	3-6
世界対応ケータイ	3-6
海外で電話をかける	3-7
オプションサービス	3-7
転送電話サービス	3-8
留守番電話サービス	3-8
割込通話サービス	3-9
三者通話サービス（グループ通話 サービス）	3-9
発着信規制サービス	3-9
発信者番号通知サービス	3-10

4 連絡先

連絡先について	4-2
連絡先の使いかた	4-2
連絡先一覧	4-2
新しい連絡先を登録する	4-2
連絡先の内容を確認する	4-2
連絡先の内容を変更する	4-4
連絡先を削除する	4-4
連絡先の情報をリンクする	4-4
連絡先からメールを作成する	4-5
連絡先を送信する	4-5
USIMカード連絡先	4-5
連絡先をメモ리카ードにバック アップする	4-6
連絡先グループを使う	4-6
グループを追加する	4-6
グループを削除する	4-6
グループを並べ替える	4-7
グループから連絡先を編集する	4-7
グループ全員にSMS／メールを 送信する	4-7
連絡先に着信拒否を設定する	4-7
着信拒否を設定する	4-7
着信拒否を解除する	4-7
着信拒否履歴を確認する	4-7

5 オンラインアカウントの 管理

SNSアカウント	5-2
SNSアカウントを追加する	5-2
Googleアカウントと同期する	5-2
Microsoft Exchange ActiveSyncと同期する	5-2
アカウントを管理する	5-2
アカウント設定を変更する	5-2
アカウントを手動で同期する	5-3
アカウントを削除する	5-3
Googleアカウント	5-3
HTC Senseアカウント	5-3
HTC Syncの利用	5-4
パソコンにHTC Syncを インストールする	5-4
HTC Syncに本機を認識させる	5-4
同期の設定	5-5
その他の同期オプションの設定	5-5
パソコンと同期する	5-5
パソコンから携帯電話にアプリケーショ ンをインストールする	5-5

6 ソーシャルネットワーキングサービス (SNS)

Facebook	6-2
HTC Sense Facebook	6-2
Android Facebook	6-2
HTC Sense Facebookと Android Facebookの相違点	6-3
Twitter	6-3
つぶやきを送信する	6-4
フォローするユーザーを検索する	6-4
ダイレクトメッセージを送信する	6-4
Twitterを設定する	6-4
Friend Stream	6-5
ステータスを更新する	6-5
アプリケーションを共有する	6-5
Google トーク	6-6
Google トークにログインする	6-6
チャットする	6-6
オンラインステータスとメッセージを 変更する	6-6
メンバーの管理	6-6
Google トーク設定を変更する	6-7

7 メール

メールの種類について	7-2
SMS	7-2
Gmail メール	7-2

インターネットメール (POP3 / IMAP4)	7-2
SMSを作成する	7-2
SMSを受信する	7-3
SMS画面の見かた	7-3
SMSを読む	7-4
SMSを返信／転送する	7-5
SMSを管理する	7-5
SMSを削除する	7-5
SMSをUSIMカードにコピーする	7-5
SMSのオプション設定	7-6
Gmail メール	7-7
Gmail メールを開く	7-7
Gmail メールを作成する	7-7
メールの受信と表示	7-8
メールを返信／転送する	7-9
メッセージリストとメールの管理	7-9
新着メール通知の設定	7-10
インターネットメールアカウントの 設定	7-10
メールアカウントの設定	7-10
インターネットメールを 作成する	7-11
インターネットメールを 受信する	7-12
インターネットメール画面の 見かた	7-12
インターネットメールを読む	7-13
添付ファイルを確認する	7-13

インターネットメールを返信／ 転送する	7-13
インターネットメールを管理する	7-14
フォルダの表示切替	7-14
インターネットメールを 他のフォルダに移動する	7-14
インターネットメールを削除する	7-14
インターネットメールのオプション 設定	7-14

8 文字入力

スクリーンキーボードを使う	8-2
ひらがな／漢字を入力する	8-3
記号／顔文字を入力する	8-4
タッチ入力設定を変更する	8-4

9 カレンダー

カレンダーについて	9-2
予定の登録と管理	9-2
カレンダーを表示する	9-2
予定を登録する	9-3
予定のリマインダー	9-4
カレンダーを同期する	9-5
Google カレンダーの同期を 停止する	9-5
Google カレンダーを追加する	9-5

10 時計と天気情報

HTCクロック	10-2
HTCクロックについて	10-2
時計について	10-2
天気情報	10-3
天気画面を表示する	10-3
天気情報を表示する都市を 登録する	10-4
天気画面の表示順を変更する	10-4

11 インターネット

ネットワークの設定	11-2
GPRS／3Gを使う	11-2
Wi-Fiを使う	11-2
VPNに接続する	11-3
ブラウザを利用する	11-4
ブラウザを起動する	11-4
Webページ表示中の操作	11-5
ブラウザを設定する	11-8

12 Bluetooth®

Bluetooth®機能を使う	12-2
ペアリング	12-2
パソコンとのペアリング	12-2
ハンズフリーヘッドセット／車内ハンズ フリーキットとのペアリング	12-3

13 カメラ

カメラを使う	13-2
カメラをご使用になる前に	13-2
カメラを起動する	13-2
カメラの撮影画面の見かた	13-2
レビュー画面のアイコンについて	13-3
フラッシュを使う	13-3
ズームを使う	13-4
静止画を撮影する	13-4
顔検出機能	13-4
動画を撮影する	13-4
カメラの設定	13-6
静止画や動画の設定を変更する	13-6

14 静止画／動画の利用

アルバムについて	14-2
アルバムを開く	14-2
静止画／動画を再生する	14-2
静止画を回転する	14-3
静止画を拡大表示する	14-3
動画再生画面	14-3
他の機器で静止画／動画を 再生する	14-4
SNS上の静止画を見る	14-4
Facebookにアップロードした 静止画を見る	14-4

Flickrにアップロードした静止画を 見る	14-4
静止画を加工する	14-5
静止画を回転する	14-5
静止画をトリミングする	14-5
静止画に効果を付ける	14-5
静止画／動画を共有する	14-6
静止画／動画をメールに添付して 送信する	14-6
静止画／動画をBluetooth®で 転送する	14-6
Facebookで静止画を共有する	14-6
Flickrで静止画を共有する	14-6
Peepで静止画を共有する	14-6
Picasaに写真を アップロードする	14-6
YouTubeで動画を共有する	14-7

15 音楽再生

音楽を再生する	15-2
ライブラリを利用する	15-3
プレイリストを利用する	15-3
プレイリストを再生する	15-3
プレイリストに楽曲を追加する	15-3
プレイリストの再生順を変更する	15-3
プレイリストの楽曲を削除する	15-3
プレイリストを削除する	15-4
着信音に設定する	15-4

楽曲を共有する	15-4
楽曲をメールに添付して送信する ..	15-4
楽曲をBluetooth®で転送する	15-4

16 地図機能

Googleマップを利用する	16-2
位置情報を有効にする	16-2
Google マップを表示する	16-2
場所を検索する	16-3
目的地までの経路を調べる	16-3
Google Latitudeを利用する	16-4
Google プレイスを利用する	16-6
現在地の店舗やサービスを	
検索する	16-6
検索する情報を追加する	16-6

17 その他のアプリケーション

YouTube	17-2
YouTubeを開く	17-2
YouTubeを閉じる	17-2
動画を検索する	17-2
動画をアップロードする	17-2
動画を共有する	17-2
Adobe Reader	17-3
オフィス文書を見る	17-3
株価を見る	17-4
株価／株式指標を追加する	17-4

株価リストの表示順を変更する	17-5
株価／株式指標を削除する	17-5
株式情報を自動的に更新する	17-5
FMラジオ	17-5
FMラジオを聴く	17-5
ボイスレコーダー	17-6
ボイスレコーダーで録音／	
再生する	17-6
Android マーケットの利用	17-6
Android マーケットを開く	17-6
アプリケーションを検索し	
インストールする	17-6
アプリケーションを更新・	
削除する	17-7
アプリケーションを共有する	17-7
ニュースを読む	17-8
ニュースを購読する	17-8
ニュースを更新する間隔を	
設定する	17-8
ニュースを読む	17-8
お気に入りのニュースを設定する ..	17-8
キーワードを登録する	17-9
Google 検索	17-9
情報やアプリケーションを	
検索する	17-9
フラッシュライト	17-10
フラッシュライトを点灯する	17-10
HTC Hub	17-10
HTC Hubを起動する	17-10

18 セキュリティ

ロック機能	18-2
PINコード設定	18-2
PINコードを有効にする	18-2
PINコードを変更する	18-2
スクリーンロックを使う	18-3
画面をロックする	18-3
画面ロック解除パターンを	
作成する	18-3
画面ロック解除暗証番号／	
パスワードを設定する	18-4
画面ロックを無効にする	18-4

19 設定と管理

本機の設定を変更する	19-2
画面設定	19-3
画面の明るさを手動で変更する	19-3
消灯するまでの時間を変更する	19-3
画面が自動回転しないように	
設定する	19-3
G-Sensorを調節する	19-3
着信／音設定	19-3
言語設定	19-4
電源管理	19-5
GSMネットワークで本機を	
使用する	19-5
電池バック使用状況を確認する	19-5

メモリ管理.....	19-5
メモリ残量を確認する	19-5
メモリの空き容量を確保する.....	19-6
適合規格情報を確認する	19-6

20 付録

USIMカードのお取り扱い	20-2
USIMカードをご利用になる前に ..	20-2
USIMカードを取り付ける／	
取り外す	20-2
PINコード.....	20-3
PINコード.....	20-3
PIN2コード.....	20-3
PINロック解除コード	
(PUKコード)	20-3
ソフトウェアの更新.....	20-4
手動で更新をチェックする.....	20-4
本機をリセットする.....	20-5
故障かな？と思ったら.....	20-6
こんなときはご使用になれません..	20-8
SMSの発着信規制について	20-8
仕様.....	20-9
索引.....	20-11
保証とアフターサービス.....	20-17
お問い合わせ先一覧.....	20-18

本書の見かた

操作手順の表記について

■項目選択

以下の例のように選択するメニュー名や項目名などは色分けして示しています。

例：1.  > 連絡先 > 連絡先の追加 > 電話番号を入力

特に説明がない場合は、ホーム画面（P.1-12）からの操作手順を記載しています。

詳細な操作手順を記載しています。

■ボタン

以下の例のように名称とイラストで説明しています。

例：1. メニューボタン（）> 設定 > 個人設定

- 以降、本書において「SoftBank 001HT」は「本機」、「microSD™/microSDHC™カード」は「メモリカード」と記載させていただきます。
- 本書に記載されている画面表示はあくまで例であり、実際とは異なる場合があります。

安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになった後は、大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 本製品の故障、誤動作または不具合といった原因によって、通話や通信が困難となり、お客様、または第三者が損害を受けられたとしても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。内容をよく理解したうえで本文をお読みください。

 危険	この表示は、取扱いを誤った場合、「 死亡または重傷^{※1}を負う危険が切迫して生じることが想定される 」内容です
 警告	この表示は、取扱いを誤った場合、「 死亡または重傷^{※1}を負う可能性が想定される 」内容です
 注意	この表示は、取扱いを誤った場合、「 軽傷^{※2}を負う可能性が想定される場合および物的損害^{※3}のみの発生が想定される 」内容です

※1 重傷とは、失明・けが・高温やけど・低温やけど（体温より高い温度の発熱体を長時間肌にあてていると紅斑、水疱などの症状を起すやけど）・感電・骨折・中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院や長期の通院を要するものをさします。

- ※2 軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。
- ※3 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

■ 次の絵の表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

	禁止（してはいけないこと）を示しています。
	分解してはいけないことを示します。
	水がかかる場所で使用したり、水にぬらしてはいけないことを示します。
	ぬれた手で扱ってはいけないことを示します。
	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示します。

- 本機、電池パック、USIMカード、マイクroフォン付きイヤホン、microUSBケーブル、メモ리카ード（試供品）、充電器の取り扱いについて（共通）

⚠ 危険

	分解や改造をしない
	水にぬらさない

絶対に分解や改造をしないでください。けがや感電などの傷害や火災が発生する恐れがあります。また、電池パックの漏液・発熱・破裂・発火の原因となります。本体内部の点検・調整・修理は、ソフトバンクの故障受付窓口にご依頼ください。

水につけたり、水をかけたりしないでください。水や海水、ペットの尿などの液体が機器の本体に入ると、発熱・感電・火災などの発生により故障やけがの原因となります。また、電池パックの破損や性能の劣化、寿命の低下を引き起こす原因となります。

	本機に電池パックを取り付けたり、充電器を接続する際、うまく取り付けや接続ができないときは、無理に行わない
	高温になる場所で使用したり放置したりしない
	本機に使用する電池パックおよび充電器は、ソフトバンクが指定したものを使用する

電池パックや端子の向きを確かめてから、取り付けや接続を行ってください。電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。

火のそばやストーブのそば、直射日光の強い所、炎天下の車内など、高温になる場所での使用や放置は避けてください。本機の変形や故障、電池パックの漏液・発熱・破裂・発火の発生、および性能の劣化や寿命の低下の原因となります。また、電池カバーの一部が高温となり、やけどの原因となることがあります。

指定以外のものを使用すると、漏液・発熱・破裂・発火などによって、本機や電池パック、その他の機器の故障の原因となります。

⚠ 警告

	水などの入った容器を近くに置かない
	電子レンジなどの加熱調理器や高圧容器に、電池パックや本機、充電器、USIMカードを入れない
	ガソリンスタンドなど、引火物がある場所では使用しない

花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。液体がこぼれて本機にかかったり、液体が本機の内部に入った場合は、火災や感電の原因となります。

電池パックの漏液・発熱・破裂・発火、および本機や充電器の発熱・発煙・発火の恐れがあり、回路部品を破壊する原因となります。

ガソリンスタンドなど、引火ガスが発生する場所に立ち入る場合は、必ず事前に本機の電源をお切りください。また充電もしないでください。ガスに引火する恐れがあります。

	強い衝撃を与えたり、投げつけたりしない 持ち運ぶときは、落したり、衝撃を与えないようにしてください。けがや故障の原因となります。万一、落とすなどして破損した場合は、電池パックを外して、ソフトバンクの故障受付窓口(P.20-18)にご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。
	乳幼児の手の届かない場所に保管する 乳幼児が飲み込んだりする事故の原因となります。
	内部に異物などが入ったときは 本機の電源を切って電池パックを取り外した後、ACアダプタのACプラグをACコンセントから抜いて、ソフトバンクの故障受付窓口(P.20-18)にご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。

	異常が起きたら 使用中や充電中、または保管しているときに、異臭・発熱・変色・変形などの異常に気づいたときは、直ちに次のような処置をとってください。 1. 電源プラグをコンセントやソケットから抜いてください。 2. 本機の電源を切ってください。 3. 電池パックを本機から取り外してください。 4. ソフトバンクの故障受付窓口(P.20-18)に修理をご依頼ください。そのまま使用すると、発熱・破裂・発火の恐れや、電池パックの漏液の原因となります。
--	---

注意	
	ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所には置かない 落下して、けがや故障の原因となります。
	湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には保管しない 故障の原因となります。
	冷気が直接吹きつける場所に長時間放置しない 露が付き、漏電や焼損の原因となることがあります。
	極端に寒い場所に長時間放置しない 故障や事故の原因となることがあります。

	使用場所について - 海辺や砂地など内部に砂の入りやすい場所で使用しないでください。故障や事故の原因となることがあります。 - 磁気カードなどを本機に近づけたり、挟んだりしないでください。キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消失することがあります。
	お子さまが本機を使用する場合は、保護者から取り扱いの内容を教える 使用中においても、指示どおりに使用しているかどうかをご注意ください。けがなどの原因となります。
	USIMカードの取り外し／取り付けについて 手や指を傷つける可能性がありますのでご注意ください。

■ 電池パックの取り扱いについて



電池パックのラベルに電池の種類が記載されています。お使いの電池の種類をご確認ください。

表示	電池の種類
Li-ion 00	リチウムイオンポリマー電池

	電池パックを充電するときや、使用する場合は、必ず次のことを守る 正しく使用しないと、電池パックの液が漏れたり、発熱・破裂・発火により、やけどやけがの原因となります。 - 釘を刺したり、ハンマーでたたいたり、踏みつけたり、ハンダ付けをしないでください。 - 外傷や変形の著しい電池パックは使用しないでください。 - 電池パックを本機に装着する場合、うまく装着できないときは、無理に装着しないでください。
--	---

	火の中に投下しない 電池パックを漏液・破裂・発火させるなどの原因となります。
	端子に針金などの金属類を接触させたり、端子どうしを接続したりしない 充電用端子に金属製のストラップやボールペンのような筆記用具などを接触させないでください。金属製のネックレスやヘアピンと一緒に持ち運んだり保管したりすると、端子に接触する可能性がありますので避けてください。端子に金属製のものが接触すると、電池パックの漏液・発熱・発火・感電の恐れがあり、やけどやけがの原因となります。
	電池パック内部の液体が目に入った場合、こすらずにすぐにきれいな水で洗い流した後、直ちに医師の治療を受ける そのままにしておくと、失明の恐れがあります。

警告

!	所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止する 電池パックが漏液・発熱・破壊・発火する原因となります。
!	電池パックから漏液したり、異臭がするときは、直ちに使用を中止して火気から遠ざける 漏液した液体に引火する恐れがあり、発火・破壊の原因となります。
!	電池パック内部の液体が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちに使用を中止してきれいな水で洗い流す 皮膚に傷害を引き起こす恐れがあります。
!	電池パックの使用や充電中または保管時に異臭を感じたり、発熱や変色・変形など、今までとは異なる状態に気づいたときには、使用を中止して本機から取り外す そのまま使用すると、電池パックを漏液・発熱・破壊・発火させる原因となります。

注意

⊘	衝撃を与えたり、投げつけたりしない 発熱・破裂・発火の原因になることがあります。
⊘	電池パックを直射日光の強い所や炎天下の車内などの高温の場所で使用したり、放置したりしない 発熱や発火の原因となることがあります。また、電池パックの性能や寿命を低下させる場合があります。
⊘	一般のゴミと一緒に捨てない 不要となった電池パックは、一般のゴミと一緒に捨てずに、端子にテープなどを貼り付けて絶縁し、個別回収に出すか最寄りのソフトバンクショップへお持ちください。 電池を分別廃棄している市町村の場合は、その規則に基づいて廃棄してください。



その他

- ・電池パックの充電は、適正な充電温度範囲内（5℃～35℃）の場所以外では行わないでください。
- ・電池パックを使い切った状態で、保管や放置をしないでください。

警告

	車の運転中に使用しない 運転中の携帯電話の使用は罰則の対象となり、本機もこれに該当します。また、付属のマイクروفोन付きイヤホンをご利用の場合でも、安全な場所に車を止めてからご使用ください。交通事故の原因となります。
	車のダッシュボードの上など、エアバックが開いたときに影響を受けそうな場所に本機を置かない エアバックが開いたとき、本機がご本人や同乗者に当たる恐れがあり、けがや事故、および故障や破損の原因となります。

	フラッシュライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させない また、フラッシュライト点灯時は発光部を直視しない 同様にフラッシュライトを他の人の目に向けて点灯させない 視力低下などの傷害を起こす原因となります。特に乳幼児に対して至近距離で撮影しないでください。また、目がくらんだり、驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。
	歩行中の使用 歩行中の使用は注意力が散漫になるため周囲にはご注意ください。特に、横断歩道や踏切などでは十分に気を付けてください。

	高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本機の電源を切る 電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。 ※ ご注意ください電子機器の例 補聴器・植込み型心臓ペースメーカー・植込み型除細動器・その他の医用電子機器・火災報知器・自動ドア・その他の自動制御機器など
	航空機内では、本機の電源を切る 本機の電波により運航の安全に支障をきたす恐れがあるため、航空機内では電源をお切りください。機内で携帯電話が使用できる場合は、航空会社の指示に従い適切にご使用ください。本機を機内モードにすると電波を発する機能はすべて無効となります。
	心臓の弱い方は、着信音量やバイブレータ（振動）の設定に気を付ける 大きすぎる着信音や突然の振動は、心臓に悪影響を及ぼす可能性があります。

	屋外で使用中、雷が鳴り出したら、直ちに本機の電源を切って安全な場所に移動する 落雷や感電の恐れがあります。
--	---

 注意	
	自動車内で本機を使用したとき、車載電子機器に影響を与える場合は使用しない 車種によっては、まれに車載電子機器に影響を与えることがあり、安全を損なう恐れがあります。
	本機にICカード・磁気カードなどを近づけたり、挟んだりしない キャッシュカード・クレジットカード・テレホンカード・フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

	本機の温度（発熱）について - 充電、動画の撮影・再生の最中や、長時間連続で使用した場合、本機の温度が高くなる場合があります。温度の高い部分に直接長時間触れているとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じる恐れがあります。本機を充電器に接続した状態で長時間連続使用する場合には特にご注意ください。 - 充電中に本機の温度が一定温度を超えた場合、自動的に充電を停止します。本機の温度が一定温度以下になると自動的に充電を再開します。
	音量設定については十分気を付ける 思わぬ大音量により耳に悪影響を及ぼす場合があります。また、耳をあまり刺激しないように適度な音量でお楽しみください。

	スピーカーフォンがオンになっているときは、必ず本機を耳から離す スピーカーフォンは、本機を耳から離しても十分聞こえる音量になっています。耳を近づけていると音量が大きすぎるため、耳に悪影響を及ぼす場合があります。
	お客様の体質や体調によって、かゆみ、かぶれ、湿疹などの異状が生じた場合は、直ちに使用を中止し、医師の診療を受ける 次の箇所に金属を使用しています。

使用箇所	素材	表面処理
本体（正面）	ポリカーボネート、ステンレス	—
本体（背面）	アルミニウム	合金塗装
カメラプレート	アルミニウム	合金塗装
電池カバー	ポリカーボネート	塗装
USIM カード／メモリカードカバー		
microUSB ケーブル	ポリカーボネート、ステンレス、銅	金メッキ
ネジ	鉄	金属メッキ
イヤホンケーブル	ゴム、ステンレス、銅	—
ACアダプタプラグ	ポリカーボネート、ステンレス	—

■ 充電器の取り扱いについて

 警告	
	市販の「変圧器」は使用しない ACアダプタを、海外旅行用として市販されている「変圧器」などに接続すると、火災・感電・故障の原因となることがあります。
	ぬれた手でプラグの抜き差しをしない 感電の原因となります。
	タコ足配線はしない 発熱により火災の原因となります。
	コンセントにつながれた状態で充電端子をショートさせない 端子に金属を接触させてショートさせたり、指先や手など身体の一部を接触させないでください。火災・故障・感電・傷害の原因となります。

	充電中は、布や布団で覆ったり、包んだりしない 熱がこもって火災や故障などの原因となります。
	雷が鳴り出したらACアダプタには触れない 落雷や感電の原因となります。
	指定以外の電源、電圧で使用しない 指定範囲外の電圧で使用する、火災や故障の原因となります。 ACアダプタ：AC100～240V
	充電器をコンセントに差し込むときは、充電器のプラグや端子に導電性異物（鉛筆の芯や金属片、金属製のネックレス、ヘアピンなど）が触れないように注意して、確実に差し込む 感電・ショート・火災などの原因となります。
	ACアダプタのコードが傷ついたときは（芯線の露出、断線など） 直ちに使用を中止してください。そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。

	プラグにほこりがついたときは、プラグをコンセントから抜いて、乾いた布などでふき取る 火災の原因となります。
	万一、水やベットの尿などの液体が入った場合は、ただちに充電器を持ってコンセントからプラグを抜く 感電・発煙・火災の原因となります。

注意

	ACアダプタのコードの上に重いものをのせない 感電や火災の原因となります。
	ACアダプタのコードの取り扱いについて - プラグを抜くときは、コードを引っ張らないでください。コードを引っ張るとコードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。充電器のプラグを持って抜いてください。 - コードを熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災や感電の原因となることがあります。 - AC コンセントの差し込みがゆるくぐらついたり、コードやプラグが熱いときは使用を中止してください。そのまま使用すると、火災や感電の原因となることがあります。
	充電器をコンセントに接続しているときは、引っ掛けるなど強い衝撃を与えない けがや故障の原因となります。

	長期間で使用にならないときは、ACアダプタのACプラグをACコンセントから抜く 感電やけがの原因となることがあります。
	お手入れの際は、ACアダプタのACプラグをコンセントから抜いてから行う 感電やけがの原因となることがあります。

■ 医療電気機器の近くでのご使用上の注意



「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話等の使用に関する指針」（電波環境協議会〔平成9年4月〕）に準じた内容について記載しています。

	植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器をご使用されている場合、機器の装着部から本機を22cm以上離して携行および使用する 本機から発せられる電波により、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。
	満員電車の中などの混雑した場所で、付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がある場所では本機の電源を切る 本機から発せられる電波により、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

	医療機関の屋内では次のことを守る - 手術室、集中治療室（ICU）、冠動脈疾患監視病室（CCU）の中には、本機を持ち込まない。 - 病棟内では本機の電源を切る。 - ロビーや待合室などでも付近で医用電気機器が使用されている場合は、本機の電源を切る。 - 医療機関内で、使用および持ち込みなどが禁止されている場所については、その医療機関の指示に従う。
	自宅療養など医療機関以外の場所で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用されている場合は、電波による影響について各医用電気機器のメーカーや販売元に確認する 本機から発せられる電波により、医用電気機器の作動に影響を与える場合があります。

お願いとご注意

ご利用にあたって

- 事故や故障などにより本機やメモ리카ードに登録したデータ（連絡先、画像、音楽など）が消失・変化したときの損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。大切な連絡先などのデータは、控えをとっておかれることをおすすめします。
- 画面ロック解除暗証番号／パスワード（P.18-4）をお忘れになった場合は最寄りのソフトバンクショップにて所定の手続きが必要となります。その際、お客様が登録、設定した内容が消失しますのでご了承ください。暗証番号／パスワードはお忘れにならないようにご注意ください。
- 本機は、電波を利用しているため、屋内や地下街、トンネル内などでは電波が届きにくくなり、通話や通信が困難になることがあります。また、通話中に電波状態が悪い場所へ移動すると、通話が急に途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本機を公共の場所でご利用いただくときは、周囲の迷惑にならないようにご注意ください。
- 本機は電波法に定められた無線局です。電波法に基づく検査を受けていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

● 一般の電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで本機を使用すると、雑音の発生などの影響を与えることがありますので、ご注意ください。

● 傍受にご注意ください。

本機はデジタル信号を利用しているため、傍受されにくくなっていますが、電波を利用している関係上、通常の手段を超える方法によって第三者が故意に傍受するようなこともまったくないとは限りません。この点をご理解いただいたうえでご使用ください。

・傍受（ぼうじゅ）とは
無線連絡の内容を第三者が別の受信機で故意または偶然に受信することです。

自動車内でのご使用にあたって

- 運転をしながら携帯電話を使用することは、法律で禁止されています。
- 本機をご使用になるために、禁止された場所に駐車しないでください。
- 本機を車内で使用したとき、自動車の車種によっては、まれに車両電子機器に影響を与えることがありますのでご注意ください。

航空機の機内でのご使用について

- 本機の電波により運航の安全に支障をきたす恐れがあるため、航空機内では電源をお切りください。機内で携帯電話が使用でき

る場合は、航空会社の指示に従い適切にご使用ください。

- 航空機内では原則的に本機の電源をお切りください。本機を機内モードにすると電波を発する機能はすべて無効となりますが、ご使用については乗務員にご確認ください。

お取り扱いについて

- 本機は防水仕様ではありません。水にぬらしたり、湿度の高い所に置いたりしないでください。
 - ・ 雨の日は、バッグの外側のポケットに入れたり、手で持ち歩いたりしないでください。
 - ・ エアコンの吹き出し口に置かないでください。急激な温度変化により結露し、内部が腐食する原因となります。
 - ・ 洗面所などでは衣服に入れないでください。ポケットなどに入れたまま身体がかかめると、洗面所に落としたり、水にぬらしたりする原因となります。
 - ・ 海辺などに持ち出すときは、海水がかかったり、直射日光が当たったりしないように、バッグなどに入れてください。
 - ・ 汗をかいた手で触ったり、汗をかいた衣服のポケットに入れたりしないでください。手や身体の汗が本機の内部に入り、故障の原因となることがあります。

- 本機の電池パックを長い間外したままにしていたり、電池残量の少ない状態で放置したりしていると、お客様が本機に登録・設定した内容が消失または変化してしまうことがありますのでご注意ください。なお、内容の消失・変化に関して発生した損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本機は温度：5℃～35℃、湿度：35%～85%の範囲でご使用ください。
- 極端な高温や低温環境、直射日光の当たる場所でのご使用、保管は避けてください。
- 使用中や充電中は、本機や電池パックの温度がやや高くなることがありますが、異常ではありません。
- カメラのレンズ部分に直射日光を長時間当てると、内部のカラーフィルターが変色し、映像が変色することがありますのでご注意ください。
- 本機を落下させたり強い衝撃を与えたりしないでください。
- 電池パックの端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。また、充電不十分の原因となりますので、汚れたときは、端子を乾いた布、綿棒などでふいてください。
- お手入れの際は、乾いた柔らかい布でふいてください。また、アルコール、シンナー、ベンジンなどを用いると色があせたり、本機に印字されている文字が薄くなったりす

ることがありますので、ご使用にならないでください。

- 雨や雪、湿気の多い場所で使用されるときは、水にぬらさないよう十分ご注意ください。
- 本機は精密部品で作られた無線通信装置です。絶対に分解、改造はしないでください。
- 本機のタッチパネルを堅いものでこすったり、傷つけたりしないようご注意ください。
- イヤホンをご使用中、音量が大きすぎると音が外にもれることがあります。周囲の方の迷惑にならないようご注意ください。
- 本機に無理な力がかかるような場所には置かないでください。故障やけがの原因となります。
 - ・ 本機をズボンやスカートの後ろのポケットに入れたまま、座席や椅子などに座らないでください。
 - ・ 荷物のつまったバッグなどに入れるときは、重いものの下にならないようご注意ください。
- 電池パックを取り外すときは、必ず本機の電源を切ってから取り出してください。
 - ・ 充電器を接続して充電しているときは、必ず充電器を取り外し、本機の電源を切ってから取り出してください。
 - ・ データを登録している最中や、メールの送受信中に電池パックを取り外すと、データが消失・変化・破損することがあります。

- 本機の外部接続端子（USBポート）には、指定品以外のものは取り付けないでください。誤動作を起こしたり、本機が破損したりすることがあります。
- 電源を入れる前に、USIMカード、SDカード及びカバーを本体にセットしてください。カバーを外した状態では、本機の動作や通話品質に影響を及ぼす場合があります。
- 電源が入ったまま本機から USIM カードを取り付け／取り外しされますと、電源が切れますのでご注意ください。

著作権などについて

音楽、静止画、動画、コンピュータ・プログラム、データベースなどは、その著作物および著作権者の権利が著作権法により保護されています。このような著作物の複製は、個人的にまたは家庭内での使用を目的とした場合のみ行うことができます。上記以外の目的で、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰の対象となることがあります。本製品を使用して複製などを行うときは、著作権法を遵守のうえ、適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

また、本機にはカメラ機能が搭載されていますが、本カメラ機能を使用して記録したものにすぎても、上記と同様の適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

商標について

- microSD™ とそのロゴ、microSDHC™ とそのロゴは、SDアソシエーションの商標です。



- Bluetooth® は、米国 Bluetooth® SIG, INC. の登録商標です。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- Microsoft、Windows、Outlook、PowerPoint、Excel、ActiveSync、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。
- Windows は Microsoft Windows operating system の略称として表記しています。
- Adobe®, Acrobat®, Adobe Reader® とそれぞれのロゴは、米国 Adobe Systems Incorporated の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- 3G High Speed は、ソフトバンクモバイル株式会社の登録商標です。
- SOFTBANK およびソフトバンクの名称、ロゴは日本国およびその他の国におけるソフトバンク株式会社の登録商標または商標です。
- 「Yahoo!」 および 「Yahoo!」 のロゴマークは、米国 Yahoo! Inc. の登録商標または商標です。
- 「Twitter」 の名称、ロゴは、Twitter, INC. の登録商標です。
- その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。



- 本製品は、MPEG-4 Patent Portfolio License に基づきライセンスされています。これは、お客様の個人的かつ非営利目的において次のような用途に限ってライセンスされており、その他の用途については認められていません。
 - ・ MPEG-4 Visual の規格に準拠する動画（以下、MPEG-4 ビデオ）を記録する場合
 - ・ 個人的かつ非営利的活動において、消費者によって記録された MPEG-4 ビデオの再生
 - ・ MPEG-LA からライセンスされた提供者による MPEG-4 ビデオの再生
 - ・ 詳細な情報については、米国法人 MPEG LA, LLC までお問い合わせください。

- Copyright 2010 Google Inc. 使用許可取得済

Google、および Google ロゴ、Android、Android ロゴ、Android マーケットおよび Android マーケットロゴ、Gmail および Gmaiロゴ、Google Apps、Google Calendar、Google Checkout、Google Earth および Google Earth ロゴ、Google Latitude、Google マップおよび Google マップロゴ、Google バスおよび Google バスロゴ、Google トークおよび Google トークロゴ、Picasa および Picasa ロゴ、YouTube および YouTube ロゴ、Google 音楽検索および Google 音楽検索ロゴは、Google Inc. の商標または登録商標です。

Bluetooth®機能を使用する場合のお願い

- 本機は、Bluetooth®機能を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth®標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth®機能を使用した通信を行う際にはご注意ください。
- Bluetooth®機能を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本機では、ヘッドセット、ハンズフリー、オーディオ、キーボード、オブジェクトプッシュ、シリアルポートを利用できます。また、オーディオではオーディオ／ビデオリモートコントロールも利用できる場合があります。

周波数帯域について

本機の Bluetooth®機能／ワイヤレス LAN 機能が使用する周波数帯は、本機の電池パック挿入部に記載されています。ラベルの見かたは次のとおりです。

2.4FH1/DS4/OF4



- ・ 周波数帯：2.4GHz
 - ・ 変調方式：FH-SS、DS-SS、OFDM
 - ・ 想定される干渉距離
FH1：10m以下
DS4、OF4：40m以下
 - ・ 2.4GHz～2.4835GHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能
- ※ 利用可能なチャンネルは国により異なります。航空機内での使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

Bluetooth®機器使用上の注意事項

1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
 2. 万一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
 3. その他、ご不明な点につきましては、お問い合わせ先（P.20-18）までご連絡ください。
- Bluetooth®機能は日本国内で使用してください。本機の Bluetooth®機能は日本国内での無線規格に準拠し認定を取得しています。海外でご利用になると罰せられることがあります。

ワイヤレスLAN (WLAN) に関するご注意

ワイヤレスLANについて

電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。

- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 近くに複数の Wi-Fi アクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。

2.4GHz 機器使用上の注意事項

WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
 2. 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、お問い合わせ先（P.20-18）までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
 3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、お問い合わせ先（P.20-18）までお問い合わせください。
- ワイヤレスLAN (WLAN) 機能は日本国内で使用してください。本機のワイヤレスLAN機能は日本国内での無線規格に準拠し認定を取得しています。海外でご使用になると罰せられることがあります。

携帯電話機の比吸収率 (SAR) について

この機種 001HT の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。

この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR: Specific Absorption Rate）について、これが 2W/kg^* の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が示した国際的なガイドラインと同じ値になっています。すべての機種種の携帯電話機は、発売開始前に、電波法に基づき国の技術基準に適合していることの証明（技術基準適合証明）を受ける必要があります。この携帯電話機 001HT も財団法人テレコムエンジニアリングセンターから技術基準適合証明を受けており、SAR は 1.42W/kg です。この値は、技術基準適合証明のために財団法人テレコムエンジニアリングセンターによって取得されたものであり、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大

の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもあります。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、次のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ

<http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm>

社団法人電波産業会のホームページ

<http://www.arib-emf.org/>

※ 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。

「ソフトバンクのボディ SAR ポリシー」について

* ボディ（身体）SARとは：携帯電話機本体を身体に装着した状態で、携帯電話機にイヤホンマイク等を装着して連続通話をした場合の最大送信電力時での比吸収率（SAR）のことです。

* 比吸収率（SAR）：6分間連続通話状態で測定した値を掲載しています。

ソフトバンクでは、ボディ SAR に関する技術基準として、欧州における情報を掲載していま

す。詳細は「米国連邦通信委員会（FCC）の電波ばく露の影響に関する情報」「欧州における電波ばく露の影響に関する情報」をご参照ください。

*** 身体装着の場合：一般的な携帯電話の装着法として身体から1.5センチに距離を保ち携帯電話機の背面を身体に向ける位置で測定試験を実施しています。電波ばく露要件を満たすためには、身体から1.5センチの距離に携帯電話を固定出来る装身具を使用し、ベルトクリップやホルスター等には金属部品の含まれていないものを選んでください。

ソフトバンクのWebサイトからも内容をご確認いただけます。

<http://www.softbankmobile.co.jp/ja/info/public/emf/emf02.html>

「米国連邦通信委員会（FCC）の電波ばく露の影響に関する情報」

米国連邦通信委員会の指針は、独立した科学機関が定期的かつ周到に科学研究を行った結果策定された基準に基づいています。この許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。

携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率（SAR: Specific Absorption Rate）という単位を用いて測定します。FCCで定められているSARの許容値は、1.6W/kgとなっています。

測定試験は機種ごとにFCCが定めた基準で実施され、下記のとおり本取扱説明書の記載に従って身体に装着した場合は、0.836W/kgです。

身体装着の場合：本機では、一般的な携帯電話の装着法として身体から1.5センチに距離を保ち携帯電話機の背面を身体に向ける位置で測定試験を実施しています。FCCの電波ばく露要件を満たすためには、身体から1.5センチの距離に携帯電話を固定出来る装身具を使用し、ベルトクリップやホルスター等には金属部品の含まれていないものを選んでください。

上記の条件に該当しない装身具は、FCCの電波ばく露要件を満たさない場合もあるので使用を避けてください。

比吸収率（SAR）に関するさらに詳しい情報をお知りになりたい方は下記のWebサイトを参照してください。

Cellular Telecommunication & Internet Association (CTIA)

<http://www.phonefacts.net>（英文のみ）

「欧州における電波ばく露の影響に関する情報」

本機は無線送受信機器です。本品は国際指針の推奨する電波の許容値を超えないことを確認しています。この指針は、独立した科学機関である国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）

が策定したものであり、その許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。

携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率（SAR: Specific Absorption Rate）という単位を用いて測定します。携帯機器におけるSAR許容値は2W/kgで、身体に装着した場合のSARの最高値は0.96W/kg[※]です。

SAR測定の際には、送信電力を最大にして測定するため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。これは、携帯電話機は、通信に必要な最低限の送信電力で基地局との通信を行うように設計されているためです。

世界保健機構は、モバイル機器の使用に関して、現在の科学情報では人体への悪影響は確認されていないと表明しています。また、電波の影響を抑えたい場合には、通話時間を短くすること、または携帯電話機を頭部や身体から離して使用することが出来るハンズフリー用機器の利用を推奨しています。さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機構のWebサイトをご参照ください。

<http://www.who.int/emf>（英文のみ）

※ 身体に装着した場合の測定試験はFCCが定めた基準に従って実施されています。値は欧州の条件に基づいたものです。

